

第1期朝来市創生総合戦略の概要と 第2期朝来市創生総合戦略の策定に向けて



朝来市総合政策課

第1期
朝来市創生総合戦略
について
（概要説明）

どうして地方創生なのか？

日本全体の現状

- 人口減少、東京圏へ人口集中
- 地方での少子高齢化、若者減少

このままだと・・・

- 人口減少により活力低下、地域経済縮小
- 中山間地域の地域生活維持が困難

まち・ひと・しごと創生総合戦略 地方の創生を！

国版 まち・ひと・しごと地方創生総合戦略

205年(平成27年)～ 5年間

- 人口減少と地域経済縮小の克服
- まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立
 - ① しごとの創生 若い世代が安心して働ける取組み
 - ② ひとの創生 地方への新しい人の流れをつくる
 - ③ まちの創生 地方で安心して暮らすことができる

まち・ひと・しごとと創生総合戦略 地方の創生を！

国版 まち・ひと・しごと地方創生総合戦略

- 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
(地域経済対策、観光業・農林水産業の振興)
- 地方への新しいひとの流れをつくる
(地方における若者の就学・就業体験、地方移住推進)
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
(少子化対策、出産・子育て支援、若者世代の経済的安定)
- 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
(集落生活圏の維持、地域づくり、生涯現役)

まち・ひと・しごと創生総合戦略 地方の創生を！

【 まち・ひと・しごと創生法 】

国の「総合戦略」を勘案し、市町村では、
まち・ひと・しごと創生総合戦略（地方版総合戦略）を
策定するように努めなければならない。

朝来市の現状

- 人口減少

 - 高校卒業後の都市部への流出

- 少子高齢化、生産年齢人口の減少

 - 地域経済や地域づくりの担い手の減少

朝来市の現状 (少子高齢化の状況)

2015年(平成27年)

朝来市人口 30,805人

男性 14,810人

女性 15,995人



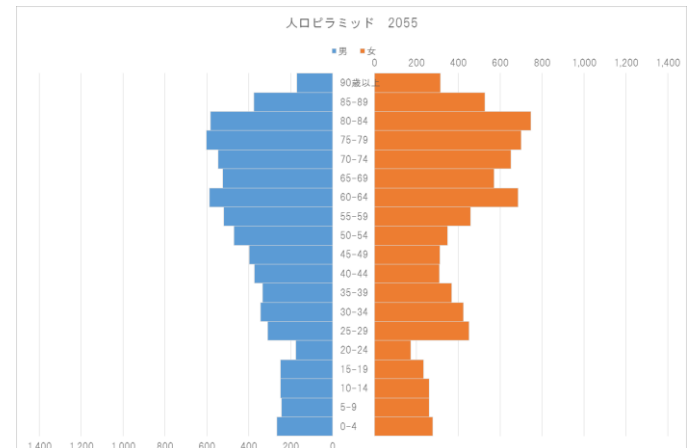
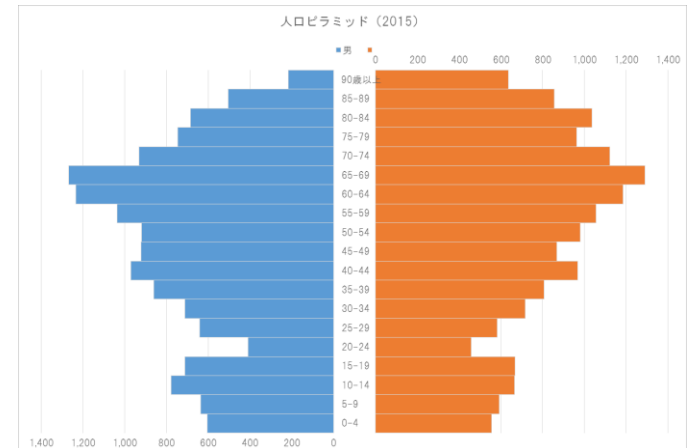
何もしなければ・・・

2055年 予想

朝来市人口 16,224人

男性 7,726人

女性 8,498人



第2次総合計画では 人口政策を最重要課題

■ 自然減の抑制

出会い、出産、健康

■ 社会減の抑制

移住、定住、雇用、起業、新規就農

■ 人口減少・少子高齢化社会において、 安心して暮らせるまちの仕組みづくり

地域自治協議会、子育てしやすい環境
生涯現役

第2次総合計画後期計画 人口の目標

2015年(平成27年)

朝来市人口 30,805人

男性 14,810人

女性 15,995人



何もしなければ・・・

2055年 予想

朝来市人口 16,224人

男性 7,726人

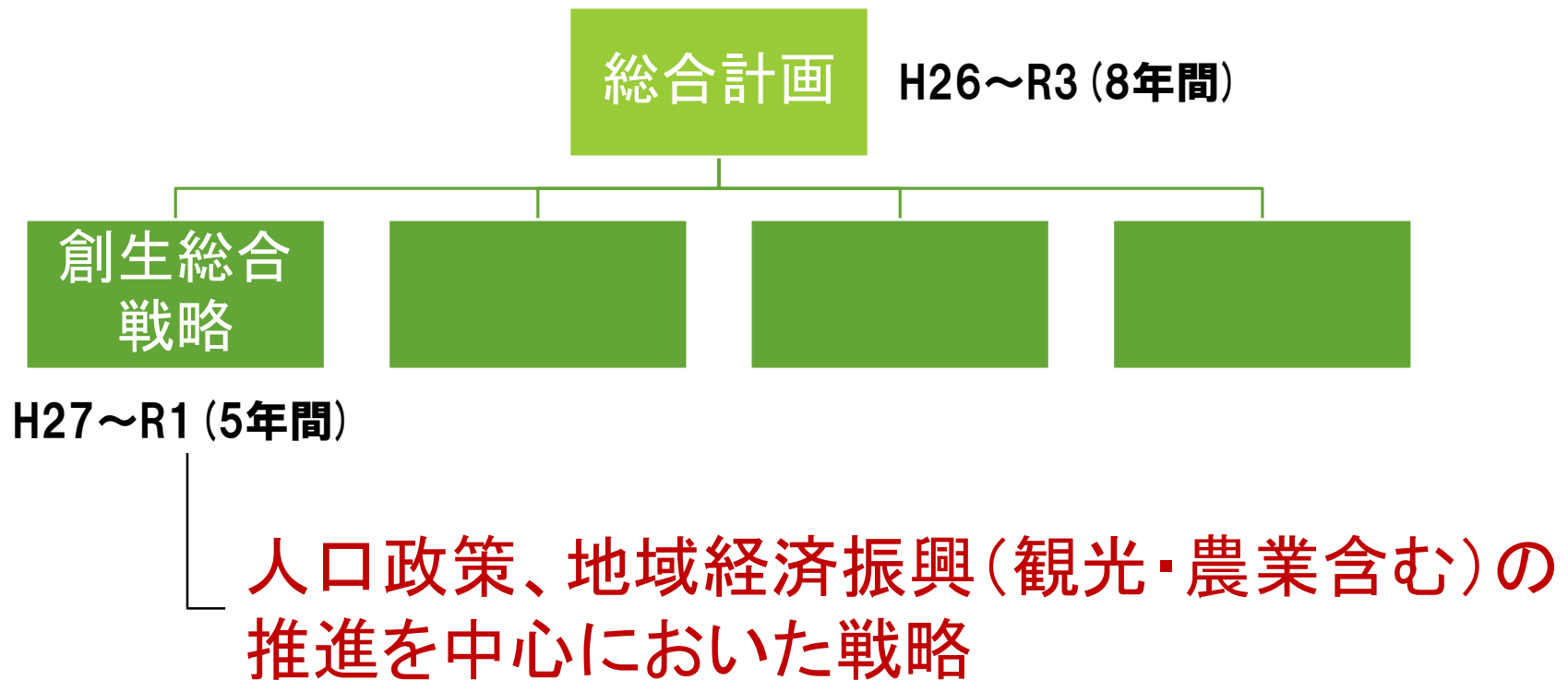
女性 8,498人

自然減の抑制、
社会減の抑制などの
取組みをすることで...



2055年
朝来市人口
20,000人

第2次朝来市総合計画と 第1期朝来市創生総合戦略



朝来市創生総合戦略とは？

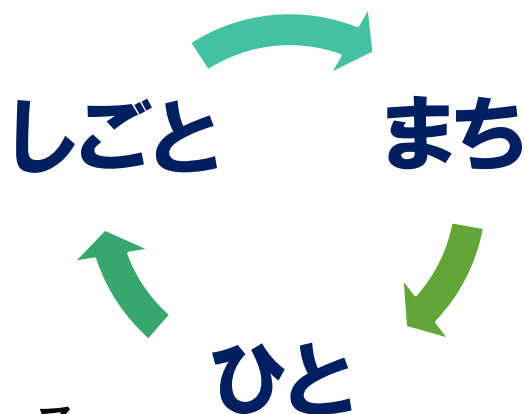
■ 人口減少の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指すことを目標に策定。（平成27年度～令和元年度 5年間）

■ 朝来市の未来を創っていくのは、市民一人ひとり、朝来市に関わるすべての「ひと」であるからこそ、「ひと」づくりの視点を朝来市創生の全てに共通する視点に据える。
（「ひと」は、朝来市民、移住者、朝来市のファン）

朝来市が目指す 「まち」「ひと」「しごと」の好循環？

魅力ある多様な
「しごと」の創出

希望を持ち、心豊かな
暮らしを営める「まち」



朝来市で活躍する
「ひと」づくり

新たな動き、人の流れが
生まれ、まちが好循環

朝来市創生総合戦略の 基本目標

基本目標① 【ひと】

- 朝来市を担い貢献する人財づくり

基本目標② 【しごと】

- 魅力ある多様な生業の機会づくり

基本目標③ 【まち】

- 希望を持ち、心豊かな暮らしを営めるとともに、
地域間連携による特色ある地域づくり

朝来市創生総合戦略の 具体的なアクションプラン【ひと】

基本目標①

【ひと】

朝来市を担い貢献する人財づくり

＜基本的な方向＞

ふるさと愛の醸成などによるふるさと回帰の促進や新しい人の流れをつくる移住を促進するとともに、出会い、出産から子育てまでの切れ目ない支援を行うことによって、朝来市を支える人財を確保・育成します。

移住支援、小中高生への人材育成、大学生地元就職支援など

朝来市創生総合戦略の 具体的なアクションプラン【しごと】

基本目標②

【しごと】

魅力ある多様な生業の機会づくり

＜基本的な方向＞

朝来市経済成長戦略による取り組みを推進し**経済活性化**を図るとともに、「**安定したしごと**」「**やりがいのあるしごと**」づくりを推進します。

観光振興、農業振興（新規就農含む）、起業支援、
企業成長支援、移住者等雇用マッチング支援 など

朝来市創生総合戦略の 具体的なアクションプラン【まち】

基本目標③

【まち】 希望を持ち、心豊かな暮らしを営めるとともに、地域間連携による特色ある地域づくり

＜基本的な方向＞

地域自治協議会や自治会などの連携・強化を図りながら、**地域の主体的なまちづくりを進めるとともに、朝来市の魅力を発信するシティプロモーション戦略を展開**します。また、関係市町との**広域連携を推進**するとともに、社会資本整備や人的交流促進することにより**市内の地域間連携を強化**し、まちの活性化を図ります。

日本遺産活用の取組み、地域づくりの担い手育成など

朝来市創生総合戦略の推進は 市民一人ひとりのアクションで

市民一人ひとりのシビックプライド

(まちへの愛着や誇り、自負心)を育み、

「このまちに住み続けたい」

「このまちで何かしたい」

と思い描く市民一人ひとりのアクションをエンジンに、

次の世代、また次の世代へと

未来に受け継がれていくまちの実現を目指す。

第2期 朝来市創生総合戦略 策定に向けて

第2期朝来市創生総合戦略 の策定にあたって(1)

【 まち・ひと・しごと創生法 】

国の「総合戦略」を勘案し、市町村では、まち・ひと・しごと創生総合戦略(地方版総合戦略)を策定するように努めなければならない。



第2期朝来市創生総合戦略

■ 計画期間

令和2～6年度(5年間)

■ 計画の基本的なねらい

人口減少の克服、ひと・しごと・まちの創生

第2期朝来市創生総合戦略 の策定にあたって(2)

■国版第2期創生総合戦略の新たな視点

- ① 民間との協働 (NPO、地域づくり団体、企業との連携)
 - ② 人材を育て活かす (人材の掘り起し、人材育成、活躍の場)
 - ③ 新たな時代の流れを力にする (Society5.0実現、SDGsを原動力)
 - ④ 地方へのひと・資金の流れを強化する (関係人口創出・拡大)
 - ⑤ 誰もが活躍できる地域社会をつくる
(女性、高齢者、障害者、外国人等が共生するまちづくり)
 - ⑥ 地域経営の視点で取り組む (既存施設の集約化・活用)
- ◆ **関係人口** 地域外の人材が地域づくりの担い手になることを期待。
- ◆ **Society5.0** 科学技術を活用して経済発展と社会課題解決の両立を目指す。

SDGs (持続可能な開発目標) 2030年を年限とする国際目標



企業・行政・NPO・地域社会など関係するすべての主体が役割を担って、「**経済**」「**社会**」「**環境**」の課題に統合的取り組む。

第2期朝来市創生総合戦略 の策定にあたって(3)

- **朝来市創生総合戦略策定にあたっての
基本的な考え方**
- 第2次総合計画後期計画(H30~)での新たな視点を、
総合戦略策定においてもベースにおく

今より人口が少なくなっても
朝来市民が幸せに暮らしていける
地域力の維持と向上

朝来市創生総合戦略の 策定と推進にあたって



「こんなふうに暮らせたらいいな」と思い描く
あなたのアクションが、このまちのエンジンです。

これからの10年、20年を、他の誰でもない市民ひとりひとり
「あなた」が主演となって新しいまちの物語を紡ぎませんか。

さあ、中高生も大人も一緒になって、
このまちの未来を語りましょう！